

事前放流の実施イメージ

○事前放流とは

令和元年東日本台風などによる日本各地の水害を受け、国は、「既存ダムの洪水機能強化に向けた基本方針」を策定。

洪水調節機能の強化の具体として、各水系毎に治水協定を締結（R2.5.28）し、今出水期より事前放流を実施。

基準となる雨量を上回る大雨が予想される場合に、従来活用していない利水容量の一部を事前に放流し、ダムの水位を下げしておく。

大雨の時に上流から大量に流れ込む水をダムに貯め、下流へ放流する量を減らすことにより、下流河川の洪水被害の防止や軽減を図る。

○事前放流イメージ

